

平成 20 年 1 月 28 日
株式会社材料・環境研究所 代表取締役 長野博夫

平成 20 年 1 月度情報発信 No.25

新しい年が始まりました。しかし、昨年来からの石油を初めとする資源の価格高騰、地球温暖化、世界的な水不足の兆候、米国のサブプライム問題に端を発した金融不安と株安などわれわれの周りは油断できない状況が目白押しです。グローバル化で地球が狭くなり、我々の企業活動、生活も地球規模で考えなくてはならない時世になりました。世界的に競争力のある技術、製品を開発するためにはニーズを先取りして、地道であくなく研究開発が求められます。この点において、各社殿に弊社が少しでも役立つことを願っています。

今年もクライアント各社殿のご発展を祈念するとともに、よろしくお願い申し上げます。
下記に平成 19 年 10 月から平成 20 年 1 月までの弊社の活動状況をご報告いたします。

1. 活動報告

特記事項

Ok 社に研究中間報告（10 月 18 日）。

腐食防食協会 第 54 回材料と環境討論会（広島、10 月 31 日～11 月 2 日）

今回初めて技術コンサルタントのセッションが設けられ、腐食防食コンサルティングに関して 8 つの講演が行われた。小生から「大学発コンサルタントベンチャー経営の喜び・苦労・夢」の講演を行った。若い人の出席も多く盛況であった。

腐食防食専門士会 小生が 3 年間続けてきた腐食防食専門士会長の職務を任期満了で退任した（11 月 1 日）。

高層住宅損害保険問題打ち合わせ。（財）大阪技術振興協会に依頼のあった住宅外装材の腐食トラブルに関する保険鑑定を受託し、保険会社、民間鑑定会社との打ち合わせを行った（11 月 5 日）。

ふるさと愛知県三河みどり市民事業講座で、母校の愛知県碧南市立南中学校で理科の授業を行った。趣旨は、中学生の理科離れ対策の一環として友人の碧南市教育長から頼まれたものである。「水とさびのお話」を一クラスに対して 45 分の授業を二クラス行った。パワーポイントのスライドで、水の性質および腐食の上でのいいさびと悪いさびについて分かりやすく話したつもりであったが、生徒たちにはいささか難しかったようだ。反省として、理科に興味を持たせるためには、簡単な実験が不可欠かと思った（11 月 20 日、写真 1 および 2）。

K 社で開かれた経済産業省 地域新生コンソーシアム研究開発事業 研究開発推進委員会に委員として出席（11 月 22 日）。

兵庫県工業技術センター主催「腐食防食セミナー」に回答者として出席。百数十名の出席者があり、小生からは材料に関する 5 つの腐食問題に関して回答を行っ

た（11月30日）。

三浦工業㈱における腐食講演会（松山市 三浦研修所 12月3日）

弊社のスーパーバイザーの広島大学名誉教授の松村昌信先生と小生が講演を行った。出席者は62名で講演題目は下記の通。

長野博夫：材料開発による各種プラントの耐食安全性の向上

松村昌信：・エロージョン・コロージョンと流速差腐食

・マクロセルモデルによる管壁減肉の機構説明

C社来社。新装置開発に関する打ち合わせ（12月13日）。

OK社にて、熱交換器材料の腐食・防食に関する平成19年度研究報告（12月14日）。

広島大学全学部生対象「ベンチャービジネス論」で1時間半講演。聴講者の中には社会人学生も混じり聴講いただいた（12月17日）。

O社にて「水と高Mn Nステンレス鋼」について講演。夕方にO社の互礼会に出席し、新年に対しての社の方針を拝聴（1月11日）。

高層住宅損害保険問題に関する保険鑑定書を提出（1月5日）。

K社で開かれた経済産業省 地域新生コンソーシアム研究開発事業 研究開発推進委員会に委員として出席（1月22日）。

2. 予定

腐食防食協会関西支部総会にて特別講演を行う。演題は「腐食防食における材料開発、教育・研究およびコンサルティング」。この講演において、耐候性鋼に生成する防食性さびおよび非防食性さびの生成メカニズムの相違を薄膜水下の鋼の腐食電位変化と水膜厚さの関係で説明する（1月29日）。

C社にて、「腐食防食概論」の講演（1月14日）。

以上



写真1 碧南市立南中学校3年生の理科の授業風景



写真2 スライドによる講演

